



6月のほけんだより

令和7年6月1日
おとぎ保育園
看護師 坂井
小栗

雨の日が増え、天気や気温の変化が激しいこの時期、湿度も高くなり熱がこもりやすく熱中症の危険も高まります。水分補給と体調管理に気をつけましょう。

また、先月は内科健診のご協力ありがとうございました。今月は尿検査（3～5歳児）、歯科健診があります。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

歯科健診のお知らせ

6月12日（木） 10時～

当日は登園のご協力をお願いいたします。
私用でお休みする際も、歯科健診のみ受けにきていただくことも可能です。担任にお声がけください。

何か心配事がある場合は、事前に担任か看護師にお知らせください。

おとぎ先月の感染症

感染症の報告はありません

0～1歳児クラスでは発熱、咳、鼻水のお子さんが多くみられました。

保育園で聞いた病気ってどんな病気??

この時期に気をつけたい感染症。その病気の主な症状をまとめてみました。ウイルスや細菌は、解熱し元気になったあとも便等から排出されていることもあります。気になる症状がみられたら、病院に受診しましょう!!

ヘルパンギーナ

高熱とのどの痛み。特にのどは、水ほうや潰瘍(かいよう)ができるため、かなり痛む(乳児はミルクが飲めないほど)。



RSウイルス

激しい咳とゼイゼイという呼吸が特徴。年齢が低いほど重症化しやすく、呼吸困難や肺炎などの合併症を引き起こす。



溶連菌感染症

突然の高熱、のどの腫れや痛み、かゆみのある全身の発疹、舌にイチゴ状のぷつぷつ(イチゴ舌)ができる。抗菌薬が処方される。



アデノウイルス

高熱・のどの痛み・目やに・充血がでる「咽頭結膜熱」や目の腫れ・充血・目やにがでる「流行性角結膜炎」を引き起こす。感染性胃腸炎を引き起こすこともある。

